

Pa-P009

会場：IM2

時間：6月25日 17:30-19:00

1998年11月28日の太陽フレアでのチベットでの太陽中性子の観測

Possible observation of solar neutrons in association with solar flare of November 28th, 1998

土屋 晴文[1]

Harufumi Tsuchiya[1]

[1] 名大・理・素粒子宇宙

[1] Particle and Astrophysical Sci., Nagoya Univ.

太陽フレア時において太陽表面で粒子加速が起こっていることが知られている。イオン加速の結果、太陽表面で中性子が生成され、地球に飛来することがある。

この中性子(太陽中性子)を地上に設置した、太陽中性子望遠鏡で検出し、イオンの加速機構の解明を行う事ができる。

この目的のため、世界の高山に太陽中性子望遠鏡が設置された。

1998年11月28日に起こった太陽フレアにおいて、チベットに設置された検出器で太陽方向から有意な統計的精度で信号を受信した。この観測について報告する。